

# HAND in HAND

はんど・いん・はんど

〔150号発刊にあたって〕

■みなさん、お元気ですか。このハンド150号がお手元に届く頃には、長い梅雨も終わり、暑い夏となっていることと思います。今、7月13日の真夜中です。このところ全国遊説の真っ最中で、今日は札幌と地震が襲った函館（被災地の方々は本当にお気の毒でした）をまわってきたところです。そして事務所に戻ったら、自治省から電話があり、15日に参議院議員に当選が決定し、16日に当選証書とバッヂを渡すので手続きに出向くようにとの伝言があったことを知りました。

■1年で日本新党へのボランティア活動はやめるつもりが、思いもかけず議員になることになりました。でも今までと同じにニコニコ離婚講座、離婚110番、ハンド・イン・ハンドの会、そしてこのハンドの発行は続けます。どんな生活になるのか予想もつかないのですが、これまでの活動をしっかり活かしたいと考えています。離婚制度の改革、就職時の年齢制限の撤廃、嫡出子と非嫡出子の差別の解消、零歳児保育や学童クラブの充実、男女の平均賃金の格差是正、介護休業制度の確立など、やりたいことがたくさんあります。

■小説を書きたい、娘とゆっくり旅行がしたい、恋をしたい(?)といろいろ欲はありましたが、しばらくは、女性や子どもや老人の生きやすい社会作りに全力投球しようかなと思っています。でも、松尾さんも森揺子さんも死んじゃった。あんまり気張らず、自分の力というものを知って、やるしかないかな、早死にはしたくないなとも思っていますが、私のようにいつも本音で生きてきた人間に、政治の世界でやっていけるかととても不安です。

■それにしても、長いような短いような14年でした。こんなに離婚講座もハンド・イン・ハンドも、続けられるとは思っていませんでした。誤解されたり非難されたりも多かったし、とにかく先立つもの、つまりお金がまったくありませんでした。それでも続いてきたのは、多くの友人や皆さんのおかげです。これからも、差別のない社会、女性が生きやすい社会を目指して頑張ります。応援して下さいね。（円より子）

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手をとりあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第149・150合併号 500円

禁無断転載

【発行日】1993年8月1日

【発行所】現代家族問題研究所

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-23-504

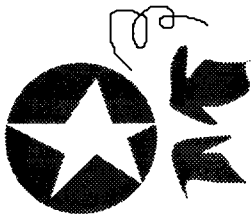
〒151 電話03(3402)7354、4385

【発行・編集人】円 より子

【スタッフ】雪野美子、篠原弥生

【印刷】(株)日出島

150



# 老後についてのアンケートから どうなる？ シングルアゲインの老後

文責／円より子

若い方の関心が高かった

146号でお願いした老後についてのアンケートがまともりました。お忙しい中、女性228名、男性3名から回答をお寄せいただき、ありがとうございます。「老後について」ではあっても案外若い方達にも関心があったようで、20代の方が16名、30代の方が104名も回答してくださいました。

(以下の数字は女性のみ228名のアンケートから)

- ① 30代 104名 (45・6%)
- ② 40代 64名 (28・1%)
- ③ 50代 28名 (12・3%)
- ④ 20代 16名 (7・0%)
- ⑤ 60代 2名 (0・9%)
- ⑥ 年齢不詳 14名 (6・1%)

全国各地から

回答は東京からが最も多かったのですが、全国各地からいただいています。

- ① 東京 48名 (21・1%)
- ② 大阪 27名 (11・8%)
- ③ 埼玉 23名 (10・1%)
- ④ 神奈川 18名 (7・9%)

- ⑤ 千葉 17名 (7・5%)
- ⑥ 愛知 14名 (6・1%)

母と子組が実家組を上回る

離婚後の暮らし方ですが、母つまり本人と子どもだけの「母と子組」が44%と最も多くなっています。年代で見ると「母と子組」は40代がトップ、次いで30代、50代、20代です。

実家組(29%)は、やはり20代で半分、30代で40%と、若い世代ほど実家頼みのようです。

一人暮らしの人も10%いますが、そのうち子どものない人は70%で、高い世代ほど一人暮らしは多いようです。

小学生が最も多い

回答者に30代が多いせいもあり子どもの年齢で見ると、小学生が最も多く32%。しかし成年に達している子を持つ人も21%(21・2%)と2位になっています。3位は学齢前の幼児の21%(20・7%)です。まだまだ自分の老後どころではないですね。

夫からの養育費や親族の援助

生活はほとんどの人(89%)が働いて得る収入でまかなっていますが、その収入は月給15万〜20万未満が最も多く(24%)、これではやっていくのは難しく、20代では貯金を切り崩し(44%)、30代では29%が親族から援助を受けているという現状です。

離婚時の慰謝料、財産分与をあてている人は60代で50%(といっても60代は2人だけなので、統計数字として一般化はできません)、40代で11%で、後の世代はほとんど無し。財産分与、慰謝料ゼロが離婚件数の半分を占めるという日本全体の状況がここにも表われています。

しかし養育費はしっかり取り決めた人がかなりいるようで、30代では47%、20代では38%、40代で30%の人が、生活費の一部としてあてにしています。

また公的扶助(主に児童扶養手当と児童育成手当)も、生活費に占める割合が大きいようで、30代と40代で40%、20代で25%になっています。

定年有り 60%、無し 33%

さて、いよいよ老後についてです。定年のある人が60%、これは公務員19%を含む常勤の人が57%だからであり、無い人が33%いるのは、自由業(3%)、自営手伝い(3%)、パートや非常勤職員(23%)、経営者(10%)がいるからでしょう。

定年の年齢は60歳が最も多く64%、それ以上が9%、55〜60歳未満が15%です。

では定年後の生活基盤は何におくつもりでしょうか。

年金・恩給という人が53%でトップです。年金の中身を見ると、厚生年金に加入している人が32%、国民年金が29%、各種共済年金が12%となっていて、こうした公的年金だけでは心もとないでしょう、民間の個人年金に入っている人も28%になっています。

ずっと働き続けその賃金で食べていくつもりの人16%います。

私も国民年金だけにしか加入していませんし、結婚期間中は何も入っていませんので、カラ期間として取得資格はあっても、ほと

んど金額の方はあてにできない状況です。だからやっぱり働き続けるでしょうね。もちろん、お金のためだけでなく、私は働くことが好きだから、ということもあります。好きな仕事に就いていて、辛いと思っている人にとっては働き続けなければいけないのは大変気が重いですよね。

老後は一人で暮らしたい

老後は誰と暮らしたいかという設問を見ると、「一人暮らしがいい」と答えた人が4割以上にもなっています(44%)。次いで「友人と」が16%にものぼり、「子どもと暮らす」と答えた人(13%)を上回っています。

この7月に発表された、1992年の国民生活基礎調査によると、子どもと同居している65歳以上の人は57%、一人暮らしは12%で、離婚女性の同居希望の少なさが際立っています。

子ども達に経済的負担をかけたくないという思いと、結婚し独立する子どもの生活を邪魔したくない、また自分も気がねなく暮らしたいという、経済的にも精神的に

も独立独歩の姿勢が強い人が多いからでしょうか。

一人で暮らしたいという人が多いせいか、住居としては「自分の家で老後もずっと暮らしたい」という人が60%と過半数を占めています。

「分らない」という人もかなり多く27%です。

「老人ホーム等の施設で」という希望が2%と少ないのは、シングル・アゲインの女性達の収入や財産では、高額の優良老人ホームに入ることは不可能に近い。といって公的な経費老人ホームでは、個室がほとんどなく、個人の生活や今までの友人知人と地域のネットワークも失われるといったことが大きいので、入居がためられるからだと思います。

公的な施設が、これまで住んでいた地域内にあり、個人の生活がもっと尊重される形だったなら、老人ホームに入居したいという人は多いのです。

しかし、公的施設の改善を待っている間に合わないという思いが、自分達でシニアハウスを作りたい、そういうところに入りたいということになり、「老人ホーム以

外の共同生活」が10%となっているのでしよう。

それにしても自分の家に住み続けたいという人が6割と多かったのですが、やはり、それは自分の持ち家が高いからです。

自分の家を持ち、そこに住んでいる人が31%、親の家に住んでいる人が26%います。

離婚時に家を買った人と、離婚後、自分で家を買った人が半々です。家といっても、高額のものではありませんが、頭金がなくとも、ローンが相当きつても買う人が多い。それは、住居というものがやはり生活の一番の基盤になるものであり、それをまず安定させないと不安だという人が多いのです。

離婚後、生命保険に入る人も7割以上います。住居と保険。これは一人暮らし、一人で子どもを育てる女達の「安心料(担保?)」なのでしょう。

91%に老後の不安

老後の不安は91%の人があると答えています。

不安の一番は「経済」(73%)。そ

して「健康」(72%)、「住居」(32%)と続きます。

家のある人でも、「経済的不安」は大きい(65%)ようですが、「家のない人」のその不安はずっと高くなっています(73%)し、「住居」の不安は賃貸住宅に住む人が41%近くになっています。

では、不安を解消するため、老後のための準備をしているかの設問を見てみましょう。

「はい」が82%。30代が最も多いわりには、皆さん、しっかりと早くから老後について考えているんですね。

夫がいないこと、女一人の賃金では現実の生活も厳しいから老後がより不安になること、日本の社会福祉の現状では安心して老いることができないことなどが理由だと思えます。

では、どんな準備をしているのでしょうか。

①年金・貯蓄等の経済的準備(74%)

②体力の増進や健康保持の努力(45%)

③趣味等の余暇の充実(44%)

④地域での友人・仲間作り(34%)

⑤職を得るための技術・技能の習得(30%)

⑥住居の確保(25%)

⑦家族関係の充実(23%)

⑧その他(2%)

こうして見ると、「年金・貯蓄等の経済的準備」、そして「住居の確保」「職を得るための技術・技能の習得」といった経済的基盤充実準備がトップ(129%)、次いで「人間関係」が57%、「体力の増進や健康保持の努力」が45%、「趣味等の余暇の充実」(44%)となっています。

シニアハウスは地方ではムリ?

最後に、このアンケート実施のきっかけとなった「シニアハウス作り」について聞いてみました。多くの人が「夢があつていい、でも実現は困難では」といった感じの回答を書いていました。

特に地方に住む人達は、「ハンドの会報紙を購読するという形だけでしか関わられていないのが現状。毎春夏に開かれていている研修会も遠方のため参加できないし、住んでいる地域では会合もない。とてもシニアハウスができて利用で

きない」という悲観的回答が見受けられました。

しかし、東京のような土地の高いところでは実現困難ですが、逆に地方の方が作りやすいかもしれないと私達は思っています。

まだ、どういふものを、どこにと決めているわけがなく、いろいろな可能性を持って前向きに考えることが、こういう新しいものを作る時には必要ではないでしょうか。

「東京に作るなら、ぜひ地方の人が泊まってデイスカッションできるような施設も」という声もあり、これはどこの地に作っても必要かもしれないですね。

名前に共にアイディアをいろいろいただいたので、今、鶴田加代子さんと向原恵子さんが中心となつてできた「企画運営グループ」では、時々会合を開き、とりあえずシニアハウスではなく「ハンドの家」と呼ぶことに決め検討を進めています。

ハンドの家を実現すべく、150回記念シンポジウムの分科会では活発な意見交換をしようと思えます。皆さんにはそうした経過を随時、報告していきたいと思っています。



★記念シンポについて——お詫び

147号で150回記念シンポジウムのお知らせをしたのに、何人もの方々から参加申し込みをいただきました。ところが今回、子ども不可としたために参加をキャンセルせざるをえない方が続出。本当に申し訳ないことをしてしまいました。シンポジウムのほうに人手がかかり、子どものほうまで見る余裕がない上、村井先生他いつもの子ども担当スタッフ全員の都合が悪く、重ねてお詫び申し上げます。

予約金10000円はモレのないよう、名簿の整理がつき次第、返送いたしますので、もう少々お待ちくださいませ。

# 家計簿公開



第89回 長野県 Iさん

## 【家族構成】

私 46歳(地方公務員)  
長女 15歳(高校1年生)  
次女 11歳(小学6年生)  
【住居】一戸建て(5K)

★  
マザコンの上、酒を飲んで暴力をふるう夫に愛想をつかし、7歳と3歳の娘を連れて婚家を出たのは8年前、昭和60年5月でした。同じ小学区に2LDKのアパート(家賃4万円)を借りましたが、2階のトイレの音が生々しく聞こえてくるのに閉口し、またもや引っ越しを考えました。けれど適当な物件もなく、敷金礼金を払わなくてはならないなら、建て売り住宅を買った方がよいのではないかなと思うようになりました。

離婚家庭であっても親子3人でどこかに足場を築き、明るい前向きな生活の場所を確保したいという気持ちも強かったのです。男であれば同じくらいの給料で妻子を養い、マイホームローンを背負っ

て生きているのだから、女の私にもそんなにぜい沢な望みではないと考えました。

保育園、小学校、病院に近いこと、学童保育があることを前提に探し歩き、現在の住居(76坪の土地に30坪の建売り)を約2000万円で契約して、昭和60年12月の完成を待って入居しました。

勤続21年、私39歳にして生まれて初めて持つ自分名義の不動産です。すべて自分の一人の才覚でと思うと感激してしまいました。

資金は退職金を担保にした職場の住宅貸し付け800万円、労金のローン200万円、独身時代からの貯金900万円、母からの援助100万円でした。

18歳から働き、実家も母子家庭だったので、母に給料の2割くらいを渡し、30歳で結婚した時の費用も一切自分で出しました。結婚中は夫の給料は姑が全部管理してしまふので、生活費はほとんど自分の給料だけでやり繰りしましたが、比較的高金利の時代でしたので、貯金が増えていて助かりました。

子どもは3学期から新しい保育園と小学校に入り、同時に学童保育の仲間入りをしたことによって「孤

独な子育て」を免がれ、親子ぐるみでつきあえる友人もたくさんできました。後には役員も引き受け、わが家は役員会や、親子交流会の会場にとフルに活用されました。

2人の娘もこの家をととても気に入り、休日も混み合う行楽地に出かけるより、自室でゆっくり過ごす方がよいと言っています。私は近くに借りた家庭菜園で野菜を作ることがストレス解消で、レジャー費用はあまりかかりません。

なお、別居から約2ヶ月後に相手方からの申し立てにより、離婚調停が始まりました。何度も裁判所に通うのは仕事にも差し支えが出るので、親権を取れたことをよしとし、18歳までの養育費一人2万円、解決金200万円という低い

金額で妥協して62年11月に離婚が成立しました。

借金がまだだいぶ残っているにもかかわらず、このたび子ども部屋の改造、キッチンの増築、門などの整備で、住宅貸し付けに450万上乗せして、新たに1160万円の借り換えをしました。8月からローン返済が約2万円増えます。勤続30年近い公務員なので収入は少ない方ではありませんが、どうしても毎月赤字になります。特に5月は自動車税、固定資産税の支払い、増築の建前費用、衣替えの被服費などが重なり、大幅な赤字になってしまいました。

もう少し家計をきちんとチェックして引き締めなければと反省しているところです。

## 家計簿内訳(1993年5月分)

【収入】	
給料(手取り)	327,267円
養育費	40,000円
計	367,267円
【支出】	
住宅ローン	53,472円
食費(主に生協利用、外食ほとんどなし)	90,000円
雑費	16,000円
教育費(長女授業料2万、次女塾1~2万、ピアノ1万)	44,300円
被服費(長女通学服他)	37,000円
光熱水ガソリン代	24,510円
電話代	3,000円
衛生費(クリーニング、美容院、買薬)	19,300円
固定資産税・自動車税	53,000円
建前費用	10,660円
交際費(歓迎会他)	12,000円
小遣い(定期購読雑誌代等3人分)	20,000円
新聞雑誌(新聞2紙)	12,180円
貯金・保険	45,840円
計	441,262円
収支計△73,955(ボーナスで補填)	

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどんどんお寄せください。

#### ■年金についてお知らせします

(?歳・茨城)

3人の子を引き取っての生活も12年続けております。いろんな思いがよぎって乗り切るまではとても辛かったのですが、今は長男も家庭を持つことになり少しずつよい方向にきております。いいことが長く続かないように悪いことも長くは続きません。誠実に生きていけばきっときつとよい状況になるということ、私自身納得しております。会員の皆様、頑張ってください。

145号に年金のことが掲載されておりました。私は保険の外務員をしておりますので少しばかりの知識ですがお知らせします。個人年金は保証もついてますので35歳くらいまででしたら払う保険料に見合うものは年金として受け取ることができですが、それ以降の方でしたら割高です。保険会社には保証のつかない年金制度を扱っている会社もあります(大同生命・経営者退職制度)。外務員に

対する報酬はほとんどありませんので積極的にすすめてはおりませんが、35歳以上の方の年金積立てとしてこれにまざるものは見当たりません。

保険会社としては規模は小さいですが、中身は日本一といわれる保険会社にヒケをとれませんし、自身の濃い会社で扱って大事なお金ですから、できるだけロスのないものをご利用いただければと思います、参考までお知らせしたいと思いいんを執りました。

私もこの9月でこの会社は退職しますが、これからは本当にお役に立てられるようなことをボランティアでさせていただきますと考えております。会員の一人としていつもこのハンド・イン・ハンドに目を向けて、私の心の糧として生きたいと存じます。

■乳癌と戦いながら  
一読者より(44歳・高知)  
今、乳癌と戦っています。44歳。ふと本屋にて見つけた、円さんの『40歳からの夫と妻の向き合い

Q

自律神経失調症で入院中、夫から離婚を求められまし

た。私が財産分与や慰養料を請求したとたんに離婚を引込めました。私の退院と同時に夫は家を出て、現在私は長女と二人暮らしで通院治療中です。別居してから夫はたくさん我的生活費を送ってくれますが、将来離婚するときに夫に有利な状況を作るためにそうしているのではないかと疑ってしまいます。このままもらってよいのでしょうか?

A 当然もらっていいのです。別居中の稼働のある夫が病気の妻に仕送りするのは当たり前のことですので、仮に夫に離婚に際して有利な状況を作ろうという下心があったとしても、あなたとしては感謝して受け取っておればいいのです。離婚の慰養料は思いうほど多くはありませんし、婚姻中の生活費の不払いは財産分与の中で一緒に清算できるとはいっても毎月きちんと受け取る方がましですよ。お手紙からは別居の原因がわかりませんが、たとえ夫に責任があるとしても、既にお子さんも就職されていますので、別居期間が長引くとそれ相当の離婚給付

弁護士110番

Q

で夫からの離婚請求は認められる可能性もありますので、別居の間に心とお金と身体の準備をしておくことだと思えます。

A 4歳と0歳の子どもがいいます。自営業の夫の仕事を手伝っていたのですが、仕事がある、そつなく家事をこなした夫の仕事を手伝うことができず離婚することになりました。子どもは親権者は経済力がないと無理でしょうか?

A 離婚に際して親権者をどちらにするかというのは、どちらが子どもに福祉に合致するかという基準で決めますので、あなたの経済力が夫に劣るというだけでは不利にはなりません。お手紙によると、保母として保育の専門家でもあり、愛情いっぱい子どもに接してこられたのですから恐れることはないと思います。要求水準の高い夫とその親族の中で辛い思いをされたと思いますが、何も早くテキパキと仕事できることだけが人間の価値ではありません。子どもは小さいけれど社会の力で育てればいいではありませんか。勇気! 勇気!

弁護士・竹川幸子

方」私の13年間を振り返り、この本で反省しています。

私は2歳で両親が離婚していたため、今どうしても離婚したくないのですが、夫は女性を作っているようです。土曜も日曜も外出します。心の隙間をうめてくれる本だと思いました。

命がいつまであるのかわかりませんが、12歳、11歳の二人の子のこと、いろいろ悩みますが……

■講座で勇気づけられました

J・H (33歳・神奈川)

6月のニコニコ離婚講座に初めて参加させてもらいました。

力強い体験談やげましの言葉を読んだとき、皆さんの前向きな姿勢に大いに勇気づけられて帰路につきました。ハンドの会報を手にするまでは、離婚＝不幸なこととしてとらえていましたが、講座での「これからは自分らしく生きていけるのです。くじけないで頑張ってください」との発言に目からウロコが落ちたような気がしました。

あの日、会場でたくさんの方々が悩み苦しみがらも積極的に人生を楽しむようになっておられるのを拝見し大いに勇気づけられました。私はただいま別居して2カ月経

ちまして、現在家裁に調停を申し立て、第1回が6月3日にあります。

別件で弁護士さんをお願いしているところです。完全に別れるまではだいぶん時間がかかりそうですが、くじけずに頑張りたいと思っています。幸いなことに両親はもちろん友人達も私と娘を応援してくれていますので、支えになっていきます。

離婚は確かに悲しいことだけではないが、合って一緒にいる方が不幸なことだと思います。私の人生なのだから、大変でも自分らしく、一杯生きていきたいです。そしてそういう姿を娘にも見えてもらって肌で感じてもらえたら、娘にもいい人生勉強になるのではないでしようか。

■寂しさで死ねないのが恨めしく (？歳・埼玉)

先日、離婚講座に久しぶりに参加させていただきました。以前まだ「オフィス・ヨリック」という頃、円さんがある日、喫茶店での小さな集まりに当時3、4歳だったお嬢さんを連れてこられたことがあり、元気がかわいいあの時のお嬢さんがもう10歳になられたとは……つくづく歳月と会員の増加に驚いています。

先日の会でも、大変ためになるお話や、若い方のテキパキした質問に54歳の私はいろいろ教えられることがあり、元気が出て帰宅しました。円さんの話とご本を土産にゆっくり冷静に自分をみつめ、夫ではなく自分が今後どうしたいのか、感情論をなるべく抜いて、今時間と健康のあるのを幸いに、いろいろ考えてみたいと痛感しました。とはいっても、思秋期真っ只中の長い一人の時間(特に夜)は死にたいほど寂しいです。寂しさでは死ねないのがかえって恨めしく、自分を応援し続けるのも、仕事や友人や遊びでごまかしている自分がホトホト嫌になります。

「家庭が一番」の私には誰もいない日曜日や連休やお正月等は最悪です。私事ばかり書いてごめんなさい。またお便りします。

■巡りくる四季に幸せを感じて： (？歳・東京)

私は今春、30年ちかい結婚生活にピリオドを打ち、母と新生活を始めた。ただ今職探しの最中です。しばらくは私にとって試験の日々かも知れません。

けれどもめぐりくる四季に感謝

と幸せを感じ、これからの道を一杯歩んでいきたいと思っています。

いままでどおりのおつき合い、よろしく願います。

■大きな顔をして堂々と生きていく (？歳・兵庫)

離婚して早1年になろうとしています。当初の精神的・肉体的どん底の時期をようやく乗り越えたかなといったところです。女一人で生きていくことの難しさは、これからも長い一生、ずっとついてまわるとは思いますが、一つ一つつかった時に乗り越えられるかないでしょうね。

先日、息子の新3年生の懇談会の時、かねてから考えていたように皆の前で「うちは母子家庭で母一人子一人ですが……忙しく暮らしています」と公表しました。少々勇気がいり、しどろもどろでしたが、これを言わなきゃ始まらないと思っていたので実行しました。

「大きな顔をして堂々と生きていく」このスタイルは少々意地や気負いも手伝っていますが、息子も「母さん、やるな！」と思ったよう、で、やっぱり正解！ 今後はいろんな会合にも顔を出す機会を作りたいと思っています。



## ■保育サービス法の施行が心配

(7歳・東京)

また一年間よろしくお願い致します。今、一番気になることは「保育サービス法」のこと。保育園が福祉の分野から切り放されるのではないかと、2歳児を保育園に預けて働いているので、自分のこととして心配になります。施行がなるとか食い止められればと思います。■これからは後を振り返らずに：

(7歳・神奈川)

長い間ありがとうございました。旧姓に戻り生活しています。現在長男(大2年)、長女(短大1年)と大きくなり、目的を持って勉強しています。父の急死(3年前)で商売をやめ、有線の横浜放送所で働いています。前向きで後を振り返らない。これからの生活を心安らかに充実してゆこうと思っています。■南の島へ引っ越します

(34歳・山梨)

以前ご紹介いただきました山梨の。です。ハンドのおかげで野菜の産直バックのお客様を増やすことができました。

実はこの7月30日に山梨を引き払い、新バートナーの田舎、徳ノ

島へ引っ越すことになりました。島では冬にレタスやキュウリができそうだし、ハーブもほとんどのものが育ちそうです。

島へ行ってから私とバートナーの婚姻届けを出し、子ども達と彼は養子縁組をしますが、前夫が親権を離さないと言っています。案の定というところ。近々家裁へ行って調停申し込みをしてきますが、それにしても「親権」という言葉とシステムはどうにかならぬものでしょうか？

男はあわれなもので「親権」がなくなると親でなくなってしまうとシンケンに不安なようです。ちゃんと育てることもできないで、養育費さえ出さなくせに、「親権」さえ持っていれば親でいられるつもりなようです。

自分の子ではないと確実にわかった上であえて父親になろうとしているわがバートナーは、着実に私の2人の子とも達と親子として、家族としての信頼関係を作り上げています。養子縁組によって得る「親権」などなくても「オレはこの子達のオヤジだ」と自信をつけてきています。彼は何のために養子縁組をするかということに

ついて、子ども達が大きくなってどこにでも自由に出て行きたい。なことがあるだろうけれどいつでも島に帰って自分の土地で何でも好きなことを作れるようにしてやりたいと言っています。誰に対しても法的にも、僕の島、私の島と堂々と言えるようにしてやりたいと言っています。

私より5つ年下で、ずっと独り暮らしだったのに、コイツはすごい奴だなーと感動してしまいました。彼に言わせると「島の人間は皆そういう考え方をする」のだそうです。確かに、徳ノ島にはプライベートビーチはなく皆が自由に好きなビーチや川で遊ぶし、必要なシャワーやロッカーはすべて町で作って無料だし、障害者も皆で守っています。

島の農業は9月から始まりますが産直ができるような状態になったらまたご連絡致します。今までのシステムとは違ってきますが、楽しいワクワクするような南島便りにするつもりです。

## ■調停のための情報収集を

N・H (38歳・東京)

現在、家庭裁判所で調停中ですが、私から円満調停の申し立てをし

たにもかかわらず、夫に逆手にとられ離婚調停の流れが変わってしまいました。原因は夫の不貞によるものですが、他にマンション(投資用)の債務を抱えており、それを理由に慰謝料も少額提示し、養育費の支払いについてもこの先守ってもらえるか不安があります。

具体的な金額についてはこれからの調停で取り決めていくわけですが、母子3人の生活がかかっている、後々困ることのないよう情報をたくさん収集できればと思っています。

## ■親・兄弟って何なのでしょう

A・M (38歳・埼玉)

私は夫の不貞で夫からの申し出により離婚になってしまい、寝耳に水の大部分があり納得できず、胃潰瘍手術を受けるほど悩み、裁判になりました。そのため、ひどい貧血でまともに働けません。生活もギリギリです。入院を勧められていますが、2週間子どもを一人にできず通院しています。

さて私には母親と弟がおりますが、浦和といえどそれほど地方とも思えませんが、私の離婚を「世間体が悪い」「みっともない女」「何かあてにされては困る」とまった



く孤立無援です。ちなみに実家は600坪の資産家です。金持ちほど警戒するのでしょうか。お金をせびったわけでもなく、まともに働けなくても子どもと2人生きていこうという気がそがれてしまい、それ以来、あちらからも出入り禁止。私たち親子も2人で生きていこう！と思いを新たにしました。でも親って、兄弟って何なのでしょう？ 私の場合は特別な親なのでしょいか？ 私はそんなにみつともない女なのでしょう？

ハンドの会の皆様が離婚という帰路に立った時の親・兄弟等の態度を知らせてください。ぜひお願いします。

お便りください

■千葉周辺のシングルママさんへ

(40歳・千葉)

別居してから2回目のゴールデンウィークをすごしました。子どもの父親からは約束を違えて、一銭の振り込みもありません。会社員としての私の給料のみで、家賃(賃貸アパート)を含め生活をまかなっています。

休命中、子ども達を動物園、遊園地、デパートのバラエティシ

ョーと次々と連れて行きお金がすっかりなくなっていました。休命中、2人の子達はそれぞれに友人宅を訪れましたが、皆出払っていて、結局外出となりました。日頃、読んであげられない絵本をと思っても、結局は子どもが途中からぐずって、3日で1冊読むのがせめてものでした。

ウィーク中に他の大人の方々と言葉も交わさず、私も辛いものがありました。千葉周辺のシングルママの方、お友達になりませんか。ご連絡お待ちしております。

お世話係から

■群馬のお世話係に立候補します

(?歳・群馬)

ハンド148号への掲載ありがとうございました。改めて、お世話係立候補致します。

離婚前まで都内に住んでいたのてひょんなことで豊島区と群馬県の福祉の差をかいまみるようになりました。例えばこちらの母子会は戦争未亡人が運営しているの現代の離婚事情にとっても則していると言えない状況なのです。もっ

と今の離婚に対応して欲しい人がうずもれていると思うのですが。

■さんの補佐に回りたい

(26歳・群馬)

148号の さんの記事についてなんですが、私とすごく状況が似てるんです。ぜひコンタクトが取りたいのですが、お願いします。

さんが群馬のお世話係に立候補されているので、私はその補佐にでも回ってお手伝いしたいと考えています。まだ会員になったばかりなので、何をやっていいかわからないのですが、会報を読んだら元気が出てウズウズしてしまいました。

※事務局からーお世話係というのは、その地域の会員同士の交流の核となつてくださる方のことです。厳密に何をすると決まっているわけではありませんが、電話や手紙で会員からの連絡を受け、会合開催の呼びかけをしていただいています。ちなみに相談は一切受け付けておられませんのでご注意ください。相談事は離婚110番へ願います。

■事務局便り

★映画ジュラシック・パークを観ました。怖い怖い。原作とは大きく違うけれど、さすがスピルバーグ!!です。怖いものの大好きさんはどうぞ。

(雪野)

★家庭菜園のキュウリ、ナスが豊作。サラダ、つけもの、煮物、みそ汁、わが家の食卓に毎度登場。そして冷えたビールでまさに夏本番中!

(小木)

★小冊子もでき、記念シンポジウムも無事終了。後は夏休みを待つばかり。お盆の花火を見ながらビールというー!

(向井)

★四季の中で夏が一番好きなのは、8月生まれの子でいいでしょう。ジリジリと照りつける太陽に、強い生命力を感じてしまします。

(安住)

★毎朝6時に起きて2時間は娘とのんびり過ごします。夜遅く帰宅した時は、いも虫みたいにゴロゴロとくつきあって話をします。7月で11歳になった娘ですが、スキップと会話は絶対不可欠の要素みたい。(円)



第151回ニコニコ離婚講座

8月28日(土) 午後1時～4時半。  
飯田橋セントラルプラザ6階(JR  
飯田橋駅下車隣)で。内容は遠藤  
優子(臨床心理士)さんの「思春  
期の子どもと夫婦の不和」と金住  
典子弁護士さんの「離婚の法律と手続  
き」。参加費は2000円。参加は  
要電話予約。

☎03(3402)7354

★東京の会合

8月28日(土) 午後7時～9時。  
アライビル3Fで。ハンドを発送  
しながらおしゃべりしましょう。

会合のお知らせ

★大阪のニコニコ離婚講座

8月の講座はお休みです。次の講  
座は9月25日(土) 午前10時半か  
らです。詳しくは9月号でお知ら  
せします。

☎06(393)1331

竹川法律事務所( )

お世話係

★鳥取・島根の会合

148号の事務局便りで がお  
知らせしておいた通り、8月7日  
(土)の午後5時から、鳥取・島根  
地域の会合を、米子で開催します。  
都合がつくなら軽い気分で行ら  
してください。今のところ を入  
れ7名が参加予定です。

▼会場は米子市西福原544-3  
ホテルわこう3階(☎0859-  
3311621/米子駅から皆生  
温泉行きのバスに乗り、天満屋前  
で下車するとすぐ。駅からは約10  
分)▼会費は3000円▼問い合わせ

松尾道子さんの追悼会予告

少し先になりますが、10月30日(土)  
の午後2時から5時、松尾道子さ  
んの追悼集会が開かれます。場所  
は未定。参加は自由で参加費は  
1000円程度になる予定です。  
詳しくは次号でお知らせします。

電話相談日時

離婚一〇番の曜日と時間は  
左記の通りです。時間、番号等  
おまがえのないように。

☆離婚一〇番

031340217354  
031340214385  
第2、第4木曜日が午後2時  
5時。第1、第3、第5木曜日  
が午後6時半～9時半。

★購読料について

現在つぎの3通りの方法をとらせ  
ていただいています。

- ①1年間3600円(送料共)
- ②2年間まとめて前払いしてくだ  
さる方には、2年分、7200円  
のところを6000円に。
- ③出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも  
遠慮なく申し出てください。それ  
ぞれ出費が多く大変でしょうが、  
期限切れの通知の入った時に、お  
振りこみ下さい。

(振込先) 各地の郵便局にて

東京141120542  
ハンド・イン・ハンドの会